



陸軍次官從四位勳二等柴山兼四郎  
特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フ

右

勅ヒ日ヲ奉ニ謹テ奏ス

昭和十九年八月二十九日

内閣總理大臣小磯國昭

新



勅任官待遇附與奏請内規

勅任官待遇附與奏請内規  
一、帝國大學校長並京城及東北帝國大學校長ニシテ一等官在職  
八年以上ニ達シタル者。  
二、北海道廳長官、管視總監又ハ各府縣ノ知事タル者ニ在リ一  
等官在職六年以上ニ達シタル者。  
三、各省次官等ニシテ一等官在職六年以上ニ達シタル者。  
四、前各條以外ノ勅任文官ニシテ一等官在職十五年以上ニ達シ

親任官待遇附與奏請内規

親任官待遇附與奏請内規  
勅任文官ニシテ左ノ各條ノ一ニ該當シ功績特ニ顯著ナル者ニ對  
シテハ特ニ親任官ノ待遇ヲ與フノ奏請ヲ爲スコトヲ得。  
一、帝國大學校長並京城及東北帝國大學校長ニシテ一等官在職  
八年以上ニ達シタル者。  
二、北海道廳長官、管視總監又ハ各府縣ノ知事タル者ニ在リ一  
等官在職六年以上ニ達シタル者。  
三、各省次官等ニシテ一等官在職六年以上ニ達シタル者。  
四、前各條以外ノ勅任文官ニシテ一等官在職十五年以上ニ達シ

タル者。

五第一號又ハ第二號ニ依リ親任官ノ待遇ヲ賜フ者ノ員數ハ各  
三人以内トス。

内閣書記官長又ハ法制局長官ニシテ其ノ官歴又ハ其ノ他ノ官歴  
特ニ優秀ナル者ニ付キテハ特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フノ奏請ヲ爲  
スコトヲ得。

陸軍司政長官、海軍司政長官陸軍事務副長又ハ海軍事務副長ニ  
シテ軍占領地ニ於ケル樞要ノ職ニ在リ且見經歷特ニ優秀ナル者  
ニ付キテハ特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フノ奏請ヲ爲スコトヲ得。  
管テ親任官タリシ者又ハ親任官ノ待遇ヲ賜リタル者ニ對シテハ  
特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フノ奏請ヲ爲スコトヲ得。

陸  
一〇七

陸  
軍

陸人第一九號

陸軍中將柴山兼四郎待遇ノ件

昭和十九年八月二十九日

内閣總理大臣殿

陸軍大臣  
陸軍中將 柴山兼四郎

八月二十八日附陸人第十號ニ據ル左記ノ者ハ嘗テ親補職ニ補セラレ  
タル經歷ヲ有スル者ニ有之候條今般任官發令ノ場合ハ特ニ親任官ノ  
待遇ヲ賜ハル如ク御取計相成度  
追テ履歷ノ概要別紙ノ通添付致シ置キ候

左記

陸軍中將 柴山兼四郎

タル者。

陸軍中將 柴山 兼四郎

陸軍中將 柴山 兼四郎  
八月二十八日 補陸軍中將 柴山 兼四郎

八月二十八日 補陸軍中將 柴山 兼四郎  
内閣 陸軍大臣 兼 陸軍中將 柴山 兼四郎

明治二十九年八月二十五日

陸軍中將 柴山 兼四郎

陸軍中將 柴山 兼四郎

柴山 兼四郎

陸軍中將 柴山 兼四郎  
明治貳拾貳年五月壹日生

本籍 茨城縣

大正	元年十二月廿四日	任陸軍輜重兵少尉
同	十一年十一月廿九日	陸軍大學校卒業
昭和	十二年四月一日	補陸軍省軍務局軍務課長
同	十三年九月廿二日	北支那方面軍特務部附被仰付
同	十四年一月十一日	北支那方面軍司令部附被仰付
同	十四年八月一日	中支那派遣軍司令部附被仰付
同	十五年九月十二日	第十一軍司令部附被仰付
同	十五年四月廿九日	敘勳二等授旭日重光章
同	十五年十二月二日	補陸軍輜重兵學校長
同	十六年十月十五日	補輜重兵監
同	十七年四月一日	補第二十六師團長

昭和十七年 四月十五日 叙從四位  
同 十八年 四月 八日 補支那派遣軍總司令部附  
同 年 十月 九日 兼補陸軍兵器行政本部附

海軍大將從二位勲二等功四級百武三郎

右任樞密顧問官

勅旨ヲ奉シ謹テ奏ス

昭和十九年八月三十一日

内閣總理大臣小磯國昭